

# EJR series



EJR54-50YS

## ヘッド (Head)

スマートでシンプルなルックスのスマートヘッドにロゴはオリジナル同様金文字のGRECOのデカールだ。このヘッドにピッタリとくるベグといえはオールクルーソングタイプのメタルノブ付につきる。もちろんオリジナル通りだ。そしてチューニングの安定度もこのクラス最高なのを言うまでもない。シンプルなヘッドにシンプルなベグ、これがEJRシリーズの持ち味だ。

## ネック (Neck)

L.A.C.ジョイントによりガッチリジョイントされたマホガニーワンピースネックは音響的にもすぐれた特性を示し、ウォームなサステイン、マイルドなトーンを生み出すベストネックだ。

## 指板 (Fingerboard)

フィンガータッチの良い良質のローズウッドを使用し、丹念に仕上げられたフィンガーボードだ。フレットにはオリジナル通りにメディアムラウンドタイプを採用。パロイドドットタイプのポジションマークがシンプルなEJRシリーズにベストマッチングする。

## ボディ (Body)

オリジナルのマテリアルを忠実に再現した最高級マホガニー単板ボディだ。ボディバインディングなし、フラ

ットトップのボディはEGシリーズの血を引くもののシンプルさにかけてはEJRが上だ。マホガニーのネバりにシングルコイルのシャープなサウンドがプラスされてこのモデルならではのサウンドをクリエイトする。

## ピックアップ (Pickups)

パワーとパンチを生み出す強力なHOT LICKをブリッジ側にマウント。シングルコイル独特のハギレの良いサウンドはもうオリジナルを超えたという声もちらほら。"ドッグイヤー"と呼ばれるこのHOT LICKは、シングルコイルの多くが喉に長くコイルをワインディングするのに対し、横に広くワインディングされ、ポールピースは下部で2本のバー状アルニコマグネットにサンドイッチされ磁力が生じる設計になっている。(オリジナルももちろんこの設計になっている。)この違いがサウンドに大きく出てくるのだ。

## ブリッジ (Bridge)

ストレートなサウンド、豊かなサステインを生むパタータイプを使用。ブリッジとテールピースが一体となったタイプだ。音の歯切れの良さは最高だ。

## コントロールノブ (Control Knob)

シンプルそのもののコントローラー。1ボリューム、1トーンの構成だ。

## ピックガード (Pickguard)

オリジナル同様EJR54-50はブラック1プライを、またEJR59-50Dにはベッコウスタイル1プライピックガードを使用。淡い光沢がシンプルなボディに冴える。

# FV series



FV64-80M

## ヘッド (Head)

鋭い角度を持ったシャープな形状の64年オリジナルタイプのスマートなヘッドだ。ヘッドアングルは4仕様でマウントされるベグはEGシリーズでも評価の高いオールクルーソングパロイドノブタイプを使用。64年タイプなのでこちらはダブルフランジノブになるのだ。もちろん"ダブルシリンダー加工"によるブッシュタイプで、ガタ、きしみなどが起こらない精度の高いものなので安心して使ってくれ。

## ネック (Neck)

マホガニーワンピースネックで、マイルドなサステイン、ウォームなトーンを生む素晴らしいヤツだ。ナット幅も40%のスリムなグリップで手にしっくりとなじむフレミングはオリジナルとグレコFV64-80Dだけ。指板はもちろんローズで白蝶貝のポジションマークならはの光の演出が華麗な高級感あふれるスペシャルスペックだ。

## ボディ (Body)

ネーミング通りのVデザインの新斬新ボディにはセレクトされたマホガニー材を使用し、厚さ34%のオリジナル通りの仕上りになっている。マホガニー独特の厚味のあるサステインが特長だ。ネックジョイントも特長のあるもので、ボディの上にネックが大きく飛び出ているのがそれでオリジナルが持つ大きな特長だ。

## ピックアップ (Pickups)

ポテンシャルの高いボディにマウントされるピックア

ップは、DRYの血を引く新開発のDOUBLE TRICKだ。気持ちよくアンプリファイされた澄んで抜けるようなハイトーン、粘りのあるロングサステインを誇りしてくれ。ボディとのマッチングもベストでマホガニー材の持つ特性を100%フルに出しきるスーパーハムバックキングピックアップだ。もちろんピックアップホールは必要最少限の大きさである。グレコの技術が目に見えないところまで生きついているのだ。

## ブリッジ (Bridge)

ガッチリとしたスタッドボルトでホールドされたブリッジにはチューンOマチックタイプを使用。プラスサドルと最良のテンションによってサステインの効いたサウンドが得られる設計になっている。

## テールピース (Tail Piece with Vibrola Arm)

テールピースには、テラックス・バイプロラ・アームを採用。ビブラート奏法も思いのまま。

## ピックガード (Pickguard)

ボディシェイプに合わせた、シャープなシルエットの白黒4Pのピックガードを使用。オリジナルを忠実に再現した素晴らしいヤツだ。

## カラー (Colors)

W(ホワイト)、M(マールーンレッド)の2機種を用意。

# SA series



SA63-60CH

## ヘッド (Head)

オールド雰囲気ムンムンのシンプルかつビューティフルな、ワンポイントインレイも華麗なスマートヘッドストックだ。ヘッドアングルは全機種18°を採用し現行モデルよりもテンションが強く、メリハリの効いた腰のあるサウンドに大きく貢献している。表面のツキ板もオリジナル通りの0.7%メイプルをラミネイト、ルックスもバツグンのヘッドストックの誕生だ。

## ベグ (Complete Key Assembly)

SAシリーズに採用のベグは、EGシリーズと共通のオールクルーソングタイプで、マテリアルからデザインまで全てオリジナルにパーフェクトな仕上げで正確かつスムーズなチューニングを可能にした。シングルフランジのブッシュ式とダブルフランジブッシュ式の2種類用意し、ベグをホールドするホール加工はグレコプロジェクトチーム自慢の"ダブルシリンダー加工"でガタ、きしみなどシャットアウトしたスーパープロセスだ。

## シリアルナンバー (Serial Number)

ヘッド裏に押されたシリアルナンバーは、EGシリーズと同様にラバースタンプを採用。インクはブラックを使用。

## ネック (Neck)

"THE MINT COLLECTION"全機種に採用のマホガニーワンピースネックをもちろんSAシリーズにも採用。完璧な品質管理のもとに丹念に生産されたものだけに完成度の高さも高次元だ。ネックの握りもパーフェクトにオールドを再現。握った感じもまったく違和感のない素晴らしい出来ばえだ。

## フレット (Frets)

幅2.7%、高さ0.9%のワイドオーバータイプだ。仕上げはアップセット"V"ファイリングで完璧をきしている。

## 指板 (Fingerboard)

全機種ローズウッド仕様。加工はまずローズのアク抜きから始まり、数段階におよぶサンダーかけという念入りな仕上げになっている。完璧なフレットと相まって滑らかなフィンガリングを保障している。

## ポジションマーク (Position Marker)

SA61-90、SA59-120にはオールドファンが熱愛する

# SS series

## ヘッド (Head)

SS63-50にはスマートヘッド、SS63-70はレーザーヘッドにワンポイントインレイ仕様の各タイプを採用。ベグはSS63-50がオールクルーソングタイプのメタルノブ、SS63-70はオールクルーソングタイプのパロイドノブだ。もちろん"ダブルシリンダー加工"によるベグホールドはパーフェクトだ。

## ネック (Neck)

マホガニーワンピースネックを22FでL.A.C.ジョイント。ハイポジションの弾きやすさは抜群で、キミのプレイが冴えること間違いなし、そしてL.A.C.ジョイントによる耐久性もバツグンだ。

## 指板 (Fingerboard)

2機種共ローズ指板にナロータイプのサイドバインデ



SS63-70CH

パロイドドットマーカーを採用。Simple is Bestがピッタリとくるタイプだ。またSA63-60にはパロイドブロックマーカーでラリーカールトンが愛用されているあのタイプ。

## ボディ (Body)

セミアコースティックボディの音を決定する上で最も重要なボディはオリジナル通り、マホガニーをメイプルでサンドイッチしたトリプレックストップ&バックを採用し、音の響き、ふくらみ共、申し分なしのオリジナリティだ。他社機種と生音を聞き比べてほしい。ハッキリその差がでることがまちがいない。そしてSA59-120にはバースアイメイプル使用のトリプレックストップ&バックを採用。超豪華な仕様になっている。バースアイメイプルはフレームグレイメイプルと共に世界でも希少なものの。グッドマテリアルのコレクターであるグレコの姿勢をここにも反映!!

## センターブロック (Center Block)

トリプレックストップ&バックを支えているのがメイプルをスプルーでサンドイッチした構造のセンターブロックだ。メイプルブロックの上下に音響的に優れた平行溝(パラレルディッチ)を入れたスプルー材をセットしたものだ。このセンターブロックがセミアコサウンドとでもいべき結ばれた音色をクリエイトするのだ。

## fホール (f Hole)

fホールに注目!!この穴一つで音が変る。試しに手のひらでふさいでみよう。サウンドの変化にア然とするはず。グレコではこのサイズ、位置とも忠実に再現。トリプレックストップの微妙な振動を効果的にサウンドに変えるのだ。他社の馬鹿デカサイズのfホールは配線の際に手を入れやすくするためのルーズサイズだ。十分に注意する必要あり。

## カットウェイ (Cutaway)

流れるような独特のダブルカットウェイがSAシリーズの華麗なボディラインを演出すると共にハイポジションのフィンガリングをスムーズなものにしているの

だ。これを名づけて"ミッキーマウスイヤーズ・ベネチアン・カットウェイ"なんともカワイイ名前じゃないか!!

## ピックアップ (Pickups)

SA59-120には、グレコ Pickup Seriesの中で、というよりはもう世界のトップレベルのピックアップといってよいDRYを2基マウント、すぐれたボディ構造と相まってハイグレードなトーンをプロデュース。オリジナルと比較して勝るとも劣らないDRYのサウンドをぜひ聞いてもらいたい。SA61-90には、セミアコの音響特性、ボディ用の構造を徹底的に分析し開発したセミアコ専用のTHE GROOVEを採用しセミアコのボディの響きを魅力的に引き出すことに成功。トリプレックストップとのマッチングも絶妙だ。そしてSA63-60には、コストパフォーマンス最高のSCREAMINを採用。オールラウンドなこのピックアップはここでもBestなサウンドを提供しているのだ。

## ブリッジ (Bridge)

パーフェクトな完成度を誇るチューンOマチックブリッジを全機種に採用し、正確なオクターブチューニングを保障。ブリッジサドルはもちろんプラスを使用。

## テールピース (Tail Piece)

オリジナルのストップテールピースを忠実に再現したもので、SA59-120、SA61-90にはアルミダイキャスト製をマウントし、テンションアジャストも思いのままだ。

## コントロールノブ (Control Knob)

SA59-120にはオールドカラーバリエーションのゴールドフライングソーサーノブを使用。形状、材質、カラーともバッチリ再現。SA61-90、SA63-60にはメタルプレート付フライングソーサーノブを採用。オリジナルに忠実なスタイリングだ。スムーズなコントロールが可能だ。

## ピックガード (Pickguard)

SA59-120にはオールドラジックガードを使用し、ブリッジまでカバーするたのもしいヤツだ。

つ独特のパワフルでストレートなサウンドが売り物のスグレ物だ。

## ブリッジ (Bridge)

SS63-70にはEGシリーズと共通のチューンOマチックを採用。またSS63-50にはブリッジとテールピースが一体となったパタータイプを使用。シンプルなスタイルに好感が持てるものだ。

## テールピース (Tail Piece with Vibrola Arm)

SS63-70にはテラックス・バイプロラ・アームを採用。キミの多才なプレイに充分答えることができるはずだ。

## コントロールノブ (Control Knob)

2機種共、オールドメタルプレート付フライングソーサーノブを使用しスムーズなコントロールを可能にした。